

東京都発達障害教育推進計画

ICT機器の活用事例集

児童の学習上の困難さを改善するために

平成29年3月



東京都教育委員会



はじめに

東京都教育委員会は、発達障害者の支援の充実に向けて、平成28年2月に「東京都発達障害教育推進計画」を策定しました。東京都発達障害教育推進計画に基づき、「発達障害の全ての児童・生徒が、その持てる力を最大限に伸ばし、将来の自立と社会参加を実現できるよう、適切な教育支援を行うこと」及び「発達障害のある児童・生徒と障害のない児童・生徒が、共に学び合うことができるよう、通常の学級における教育的支援をはじめ、障害の状態に応じた多様な教育の場を拡充すること」を基本理念として、全ての公立学校における発達障害教育に関する様々な施策を展開しています。

本事例集では、発達障害のある児童が、学習等においてICT機器等を活用することにより、認知処理の偏り等を補ったり、学習上の困難を補ったり、注意や集中を高めたりするなどの事例を紹介しています。

発達障害のある児童が、ICT機器等を活用し、困難を取り除いたり、軽減したりすることにより、学びや理解が深まり、児童の可能性が広がります。

本事例集は、小学校で使えるICT機器等の活用事例とその効果について示すとともに、実践事例で扱ったアプリケーション等の例を紹介しています。

また、事例を一斉学習と個別学習の場面に分けて紹介していますが、個別学習の場面における事例は、一斉学習の場面で個々のニーズに合わせて導入することも可能です。

各学校においては、本事例集を活用し、発達障害のある児童・生徒の学習における困難の改善にお役立ていただきますようお願いいたします。

平成29年3月

東京都教育委員会

※ 本事例集に掲載している画像は、第2回東京都立特別支援学校アートプロジェクト展（平成29年2月20日～3月6日）に展示された作品です。



友永 和志 《紙の造形》



星 たから 《恐竜大好きⅡ》

目 次

はじめに

第1部 ICT 機器等の活用実践事例

- 1 事例一覧 6
- 2 一斉学習の場面における事例 8
- 3 個別学習の場面における事例 16

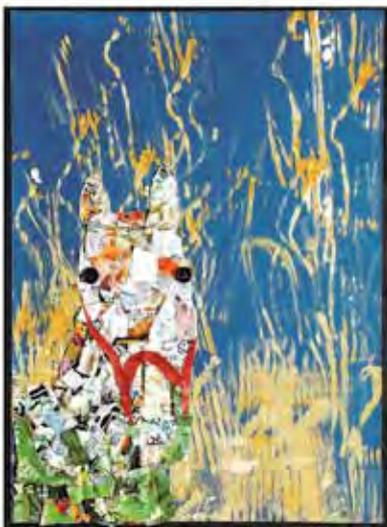
第2部 発達障害のある児童に対する ICT 機器等の導入ガイド

- 1 発達障害のある児童の実態と ICT 機器等の活用の可能性 46
- 2 学習障害のある児童の読み書き評価について 48
- 3 通常の学級に ICT 機器等を導入するための指導 49

資料編



三澤 亮太 《リアルラビット》



宮脇 隼人 《コラージュ/動物「馬」》